

平成28年度卒業生等のための特別講演会

# 山形大学における

# 重粒子線がん治療プロジェクト



卒業生等首都圏ネットワーク

## 会場

山形大学東京サテライト  
国際会議室(1階)

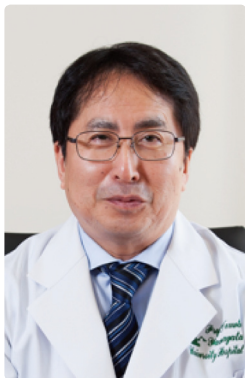
住所:  
東京都港区芝浦3-3-6  
キャンパスイノベーションセンター

## 日時

平成28年  
12/17(土)  
13:45~14:45

放射線治療の目的は、正常細胞を傷つけずに、がん細胞のみに照射し、そのDNAを破壊することです。用いる機器は1896年以来、真空管を用いた深部X線治療装置、コバルト60遠隔照射装置、リニアックと概ね40年周期で飛躍的に進歩していますが、現在最強の治療装置と考えられているのが重粒子線治療装置です。がんに絞って放射線を集中させやすく、いままでのX線が無効であったがんにも効果が高いこともわかっています。理論的に優れている重粒子線ですが、高額で施設数が少なかったこともあり、X線や陽子線に対する優位性を示すためのデータが少ないのが現状です。施設数が増えつつある現在、他治療に対する優位性や重粒子線でのみ治せる病態を科学的に明らかにすることが求められています。

## 講師紹介



山形大学医学部附属病院 病院長  
**根本建二**(ねもとけんじ)氏

昭和32年 岩手県盛岡市生まれ(本籍:茨城県)  
昭和57年3月 東北大学医学部卒業

【専門領域】  
粒子線治療  
消化器がんの放射線治療  
IT技術の放射線治療への応用

### 【略歴】

宮城県立成人病センター放射線科、東北大学放射線医学教室を経て

平成18年4月 山形大学医学部 放射線腫瘍学講座 教授

平成19年4月 山形大学医学部 がん臨床センター長

平成23年4月 山形大学医学部 副医学部長

平成24年4月 山形大学医学部附属病院 副病院長

平成27年4月 山形大学医学部 副医学部長

平成28年4月 山形大学医学部附属病院 病院長

### 【在外研究歴】

■短期:昭和61年10月~昭和61年12月

Lawrence Berkeley National Laboratory, Berkeley, CA

重イオンビーム(シリコン)の実験腫瘍に対する効果

■長期:平成7年3月~平成8年3月

British Columbia Cancer Agency, Vancouver, BC Canada

パイ中間子線による脳腫瘍治療、陽子線の生物効果

### 【主な学会役員】

日本放射線腫瘍学会 専務理事(副理事長)

### 【その他】

山形大学への重粒子線治療装置導入に向けた各種活動

東北がんネットワークの放射線治療委員長として東北の放射線治療のとりまとめ